

8 景観・環境の保全と創造

2 きれいでくらしやすい生活環境の創造

主担当部局(長)名
 景観・環境局長 榎田 斉志

目指す姿

奈良ならではの“美しい自然・景観”や“快適な生活環境”を守り・創り・育む「きれいでくらしやすい奈良県スタイル」を構築・定着させ、「住んでよし」「訪れてよし」の地域づくりを目指します。

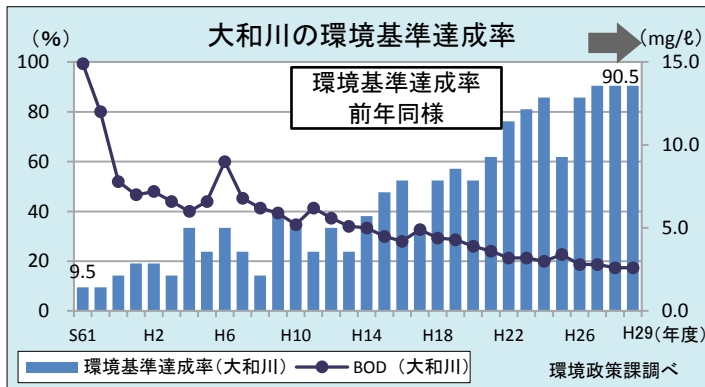


リバーウォッチング(初瀬川)

主な成果

- ・大和川の環境基準達成率は、平成29年度は前年度と同様の90.5%で推移しているものの、下水道整備等の進捗により、改善傾向にあります。
- ・県民1人1日当たりのごみ排出量は、環境にやさしい買い物キャンペーン(レジ袋削減)を実施するなどの意識醸成に努めることにより、平成28年度は前年度と比較して19g減少しました。
- ・奈良県内エネルギー起源CO2排出量は、創エネ・省エネの取組が進んだこと等により、平成27年度は前年度と比較して56万t-CO2減少しました。

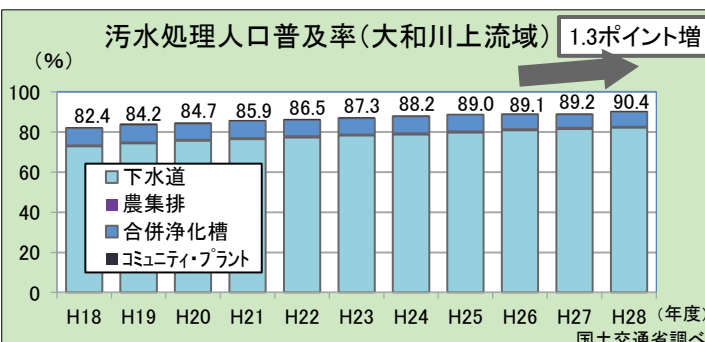
1. 政策目標達成に向けた進捗状況



目標	誰もが安心して暮らせる、住みやすいきれいな生活環境を創造します。
成果	大和川の環境基準達成率は、平成29年度は前年度と同様の90.5%で推移しているものの、下水道整備等の進捗により、改善傾向にあります。

2. 戦略目標達成に向けた進捗状況

戦略目標	①生活排水対策を推進し、大和川の環境基準(BOD値)を達成します。(H26年度環境基準達成率: 85.7%) ②平成29年度までに、廃棄物の排出量削減とリサイクルを推進し、家庭ごみ排出量を602g/人・日にします。(H25年度: 634g/人・日)その結果、平成29年度までに、最終処分率を10.3%にします。(H25年度: 12.8%) ③平成42年度までに、温室効果ガス排出量を平成25年度比で30.9%削減します。(H25年度: 県内温室効果ガス排出量約788万トン)
------	---



目標	生活排水対策を推進し、大和川の環境基準(BOD値)を達成します。(H26年度環境基準達成率: 85.7%)
成果	下水道整備及び合併処理浄化槽設置促進等により、汚水処理人口普及率(大和川上流域)は平成28年度末で90.4%となり、平成26年度と比較して1.3ポイント上昇しました。